

No.	ページ/位置	誤(下線部)	正																		
1	P.46/ 評価レベル表 「レベル5」欄	レベル4を超える水準の断熱性能を満たす。	【断熱性能⇒断熱等性能と「等」を挿入】 レベル4を超える水準の断熱等性能を満たす。																		
2	P.46/解説 「レベル1から4まで」の4行目以降	以下のいずれかの基準で評価する。 A 外皮平均熱貫流率 U_A (建築主の判断基準) B 冷房期の平均日射熱取得率 η_A (建築主の判断基準) C 簡易計算による外皮平均熱貫流率 U_A (設計・施工指針) D 簡易計算による平均日射熱取得率 η_A (設計・施工指針) E 熱貫流率等 (設計・施工指針附則)	以下のAまたはBのいずれかの基準で評価する。 A 外皮平均熱貫流率(U_A)基準*1 および冷房期の平均日射熱取得率(η_A)基準*1 B 躯体の熱貫流率等の基準*2 および開口部の熱貫流率基準と日射の侵入を防止する部分の基準*2 *1「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する設計、施工及び維持保全の指針(平成25年国土交通省告示第907号)」(以下、「設計・施工指針」)の別表第1から第7までに掲げる仕様の熱貫流率および日射熱取得率を用いた計算を含む。 *2 設計・施工指針附則に定められた条件を満たすこと。																		
3	P.47/解説 「レベル5の基準」の表の下	—	【表下に、以下の但し書きを追加】 外皮平均熱貫流率で評価する場合、5～7地域では日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4で求められる η_A 値を満たすこと。																		
4	P.63/解説 「日本住宅性能基準」の表 (表頭、等級3、等級2の欄)	空気伝播音	空気伝搬音																		
5	P.63/解説 「日本住宅性能基準」の表 (等級1の欄)	建築基準法に定める空気伝搬音の遮断の程度が確保されている程度	その他																		
6	P.103/解説 「冷房方式」の選択の判断の表 (運転方式の欄)	「冷房方式」の選択の判断 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3">運転方式</th> </tr> <tr> <td colspan="2">単位住戸全体を暖房する方式</td> <td>ダク</td> </tr> <tr> <td>居室のみを暖房する方式</td> <td>間歌運転</td> <td>ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×</td> </tr> </table>	運転方式			単位住戸全体を暖房する方式		ダク	居室のみを暖房する方式	間歌運転	ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×	【暖房⇒冷房に修正】 「冷房方式」の選択の判断 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3">運転方式</th> </tr> <tr> <td colspan="2">単位住戸全体を冷房する方式</td> <td>ダク</td> </tr> <tr> <td>居室のみを冷房する方式</td> <td>間歌運転</td> <td>ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×</td> </tr> </table>	運転方式			単位住戸全体を冷房する方式		ダク	居室のみを冷房する方式	間歌運転	ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×
運転方式																					
単位住戸全体を暖房する方式		ダク																			
居室のみを暖房する方式	間歌運転	ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×																			
運転方式																					
単位住戸全体を冷房する方式		ダク																			
居室のみを冷房する方式	間歌運転	ルームエア房能力を洋上であるも -0.504×																			

7	P.116／解説 2行目後半以下	(ただし、電気クッキングヒーターは指定されていないため別基準とし、「エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」(省エネ基準)で評価される「照明器具」は評価対象外とした)。	【アンダーライン部削除】 (ただし、電気クッキングヒーターは指定されていないため別基準とした)。												
8	P.120／ 評価レベル表	【下表に差替え】 <table border="1" data-bbox="280 510 1444 801"> <thead> <tr> <th data-bbox="280 510 456 546">レベル</th> <th data-bbox="456 510 1444 546">基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="280 546 456 582">レベル1</td> <td data-bbox="456 546 1444 582">取組みなし。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 582 456 618">レベル2</td> <td data-bbox="456 582 1444 618">(該当するレベルなし)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 618 456 654">レベル3</td> <td data-bbox="456 618 1444 654">設備毎の取扱説明書が居住者に手渡されている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 654 456 725">レベル4</td> <td data-bbox="456 654 1444 725">レベル3に加え、省エネに関する住まい方について一般的な説明がすまい手になされている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 725 456 797">レベル5</td> <td data-bbox="456 725 1444 797">レベル3に加え、当該住宅に採用された設備や仕様に関して、個別の建物・生活スタイルごとに対応した適切な説明がすまい手になされている。</td> </tr> </tbody> </table>		レベル	基準	レベル1	取組みなし。	レベル2	(該当するレベルなし)	レベル3	設備毎の取扱説明書が居住者に手渡されている。	レベル4	レベル3に加え、省エネに関する住まい方について一般的な説明がすまい手になされている。	レベル5	レベル3に加え、当該住宅に採用された設備や仕様に関して、個別の建物・生活スタイルごとに対応した適切な説明がすまい手になされている。
レベル	基準														
レベル1	取組みなし。														
レベル2	(該当するレベルなし)														
レベル3	設備毎の取扱説明書が居住者に手渡されている。														
レベル4	レベル3に加え、省エネに関する住まい方について一般的な説明がすまい手になされている。														
レベル5	レベル3に加え、当該住宅に採用された設備や仕様に関して、個別の建物・生活スタイルごとに対応した適切な説明がすまい手になされている。														
9	P.169／ 見出しを含めて上から2行目	CASBEE－戸建(新築)はすまいの環境性能	CASBEE－戸建(新築)は戸建の環境性能												
10	P.184／ 見出しを含めて上から16行目	2010年版ではオフサイト手法を採用し	2010年版からはオフサイト手法を採用し												
11	P.185／ 見出しを含めて上から2行目	CASBEE－戸建(新築)2010年版より、	CASBEE戸建-新築2010年版より、												
12	P.185／ 下から2行目	2010年版のCASBEE－戸建(新築)より、	2010年版のCASBEE戸建-新築より、												
13	P.189／ 見出しを含めて上から6行目	なお、本改定では	なお、CASBEE－戸建(新築)では、												